

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

公表年月：2019年3月  
事業所名：エンジェルハルティ

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			設備基準を満たしているものの、余裕があるスペースではないため、机の位置やスペースの確保を工夫することで、適切なスペースを確保しております。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			職員の配置基準は満たしております。また、行事等の際には増員する等の対応を行っております。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		ほぼバリアフリーになっておりますが、トイレ入口などは少し狭いため排泄には気配りをしております。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			送迎前のミーティングやケース会議を通じて、全ての職員が業務改善に取り組んでおります。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様から頂いた意見を真摯に受けとめ、職員全員で共有し、改善すべき点について話し合いました。今後、改善すべき点について改善するべく取り組んで参ります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公表致します。 (HP:https://www.lankuuno.jp/)
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者委員は設置しているものの、現状連携が不十分であることから、今後連携を図って参ります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		※コメント要
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			毎月モニタリングを行い、職員全員でカンファレンスを実施した上で、計画書を作成しております。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティングにおいて、年間の行事計画を策定し、プログラムや活動を実施しております。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動プログラムを基本計画とし、毎日始業時に当日の課題を出勤職員にて確認をしております。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			職員全員が、利用者個々のニーズや特性を十分理解し、個別療育と集団活動を組み合わせ、計画を作成しております。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に出勤職員全員で打合せを行い、個々の課題等をホワイトボードにて示して確認しております。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、出勤職員全員で進捗状況や振り返りを行い、職員全員で課題や今後の対応を共有しております。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			児童発達支援管理責任者のモニタリングに対し、6ヶ月に一度職員全員で話し合い、計画の見直しを行っております。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○			
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に、子供の状況に精通しております児童発達支援管理責任者が対応しています。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校と連携し、学校行事や下校時間などの情報交換等を適切に行っております。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアが必要な子供を受け入れはありません。今後、受け入れる場合には、適切な体制を整備して参ります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			大半が同一グループの事業所から受け入れを行っており、情報共有と相互理解は十分に行っております。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在、相談事業所を利用する子供については、情報提供を行っております。今後も、支援内容等の共有を積極的に図って参りたいと考えております。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域の部会へ参加をしております。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時などに、短い時間ではあるが行っております。今後、専門性を有した職員等による面談・診断結果の還元等により、共通認識を深めて参りたいと考えております。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		電話や送迎時のコミュニケーションを通じて、必要な助言と支援を行っております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	これまで取組みは行っておりませんが、今後保護者同士の連携を支援できるよう検討をしております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口を設置し、苦情があった場合には迅速かつ適切な対応を行っております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的にお便りやブログを通じ、情報発信をさせて頂いております。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域のみなさまに放課後等デイサービス事業を理解して頂き、交流を図っております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを策定しております。今後、保護者様にご認識頂けるよう周知・説明を実施して参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			必要な訓練を年2回行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年間研修スケジュールに「虐待防止への取り組み」として研修を実施しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			保護者様のご理解を頂いた上で実施しております。今後、本件について放課後等デイサービス計画書に記載をして参ります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例をノートに記載し、職員全員で共有しております。